

七ころび 八起き

第8号
平成25年
春号



Higashikakogawa Hospital

医療法人達磨会 東加古川病院

<http://www.tatsumakai.jp>

～今年度の病院方針について～



院長 森 隆志

当院は昭和12年に加古川脳病院としてスタートし、現在を迎えております。創立以来のこの75年間、刻々と変わる時の流れの中で精神科医療に取り組んできました。勿論、一所懸命で手抜きなどあろうはずはありません。しかし、残念ながら医療技術の低さからか、入院するも治らず、慢性経過を辿った患者さんも多数を数えます。こういった方々は長期入院に至るうちに保護者が亡くなったりして帰るところをなくし、結果として病院に長期滞在することになり、出るところも、出て行くシステムも未熟なために漫然と病院で時を過ごしていく形が主流でした。又関わる方も新しくなす術もなく、漫然とした関わりを続けていました。しかし、これからの精神科医療はそういった漫然とした経過、関わりを許さず、社会復帰・ノーマライゼーションによる自立志向を目指す方向性を強く指して居ります。

当院も時代の潮流に呼応して75年の精神科医療のノウハウの蓄積の上に新しい工夫を加えて患者さん達の社会復帰を推進してゆこうと決意しております。生活訓練センター、チーム医療、訪問看護、デイケアの充実、デイケア付きサテライト、障害者支援センターの設立等々の規模拡張、内容充実、新しい試みなどは、この決意を実現するための努力の表れと御受け取り頂きたいと思っています。



医療事故の防止について

院長補佐 高内 茂

患者さんに安全な医療を提供し、医療事故防止することは医療に携わる者にとって切実な課題であり、実現すべき使命です、このことは理解していても、日々の業務には多くの人がかわかり、その中でヒューマンエラーとして作業ミスやさまざまな過誤、時として予測できない不幸な出来事としての事故が発生するものも現実です。

東加古川病院では、安全を病院の理念に掲げ、医療事故防止対策委員会を中心に事故防止に努めています。社会高齢化がすすみ、転倒など日常の危険はたかまっています。当院でも患者さんの高齢化と共に転倒などの事故を防止するべく全職員が日々努力しているところです。



2月 “兵精協PSW部会研修会” 当院で開催!

平成 25 年 2 月 12 日に当院において兵庫県精神科病院協会の PSW 部会研修会が実施され、26 病院、34 名の方が足を運んでくださいました。

森院長より「PSW に求める事～今後の退院支援に向けて」と題して講義がありました。PSW の担う役割として、①医者や関連機関、患者様、ご家族との連携を保つ、その間の関係調整を図る②リスニングをベースに信頼関係を作る③退院という目標に向かって自己成長していく過程を支持するといったことが挙げられました。

病院見学では病棟、生活訓練センター、デイケアセンターを見学していただきました。

多くの病院の精神保健福祉士の方に当院の機能や取り組みを紹介し、率直な意見をうかがうことができ、まだまだ至らない点がありますがとても貴重な機会となりました。



～森院長講義～



～病院見学案内の様子～

1月 “人形劇” 上演 ～生活訓練センター～

平成 25 年 1 月 12 日に、兵庫大学保育科の人形劇サークル『わくわくさんのポケット』の方々にボランティアとして人形劇を上演して頂きました。

「友達ほしいなおおかみくん」「赤頭巾」の 2 本立てで、合間には手遊びや手話を交えた歌がありました。参加された患者様は、人形劇を食い入るように観覧され、手遊びや手話では見様見真似で手を動かして多くの笑顔が見られました。特にご高齢の患者様に受けがよく、普段とは違った体験を十分に楽しんで頂きました。引き続きボランティアの募集を受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。



～人形劇上演の様子～



3月 女性開放病棟「お味噌汁振る舞い会」

平成 24 年 10 月～平成 25 年 3 月の半年間、女性開放病棟患者様 6 名で生活技能訓練(SST)の一環として退院後の食事調達を自ら考え行動し身に付ける「料理教室」を実施しました。医師・薬剤師・看護師・コメディカル・事務部を招き、昼食に提供するお味噌汁を調理するお披露目会を開催しました。食材選び・調理・職員や同病棟患者様へお汁椀を運ぶ一連の流れは患者様が話し合いを重ね作り上げたものです。人前で話す事が苦手な患者様も、原稿を暗記し堂々と発表されていたことに驚き、立派な姿を見て嬉しく思いました。

長期入院の中での新しい取り組みは、回を重ねるごとに「不安」から「前向きな姿勢」へと変化し、患者様の自信に繋がった、行動変容の大きな 1 歩となる SST でした。



家族教室が開催されることになりました!

ご家族から勉強できる場、話し合いが出来る場が欲しいという意見を頂き、またご家族によりよい生活を送って頂けたらと思い、この度当院では家族教室を開催することとなりました。

第一回の家族教室は2月9日に当院の森隆志院長による「家族のメンタルヘルス」についてお話をさせて頂き、約60名のご家族や地域の方々に参加されました。院長からは本人の回復への道やご家族の思い、考え方について話があり、多くの方が頷きながら話を聞かれていたように感じます。その後はご家族同士でストレス発散方法や悩み等を話して頂き、皆様から「来てよかった」「勉強になったので次回も参加したい」と多くの感想を頂くことが出来ました。今後もご家族が笑顔で帰られるような教室になればと考えております。

家族教室は今年度で10回開催予定としています。家族教室に参加

ご希望の方や、何か不明点がありましたら、地域医療連携室までお気軽にお問合わせください。



～話し合いの様子～

病棟機能の再編

平成23年3月に新病棟が完成し、患者さんが広い療養環境で過ごされています。急性期病棟・開放病棟・閉鎖病棟と患者さんの状態に合わせて機能分化していますが、病院の方針でもある地域での自立を促進していくために病棟の再編を行うことになりました。医師、看護、事務、コメディカルをメンバーとして昨年に委員会を発足し、この度患者さんの治療環境を考えた病棟機能に再編しました。病状の不安定な方や急性期を脱した方が治療を受ける病棟であったり、社会復帰訓練を目的とする病棟であったりと退院支援がしやすい機能をと検討してきました。そのため病棟の構造も一部改修を行ってみました。他職種が協同して患者さんに関われるように、院長のいう『チーム医療』をこれからも実践していきたいと思っています。



医局コラム vol.7



『精神疾患の難しさ』

医師 大西 悠

あまり知られておりませんが、精神科の世界においては、統合失調症や躁うつ病といった細かい精神疾患の分類において、全世界で通用する完全に統一された基準というものは実はまだ存在してはいないのです。大きく分けて、世界保健機構が作った国際疾患分類 (ICD-10) や、アメリカ精神医学会による統計的診断マニュアル (DSM-IV) の二つの分類方法があります。多くの国々がメートル法を採用している中でもかたくなにポンド・ヤード法を貫いているように、何かについてわが途を行きたがるアメリカのお国柄が現れているとも言えますが、むしろ精神疾患を分類するという行為それ自体が、非常に難しいことを示しています。



取 り 組 み



☆当院デイケアの紹介

当デイケアは平成 11 年 4 月に開設。当初、週 3 日の“小規模デイケア”からの始まりでしたが、十数年のときを経て、昨年 11 月には“大規模デイケア 70 人規模”に拡張となりました。

平成 25 年 5 月 1 日現在、登録者数 122 名の大所帯で、日々、さまざまな活動に取り組んでいます。



～広々とした室内～

今後も利用者の皆様とのコミュニケーションを大切にしながら、内容の充実を図り、利用者の皆様の地域生活を応援していきたいと考えています。

人気プログラム紹介♪



☆7月：そうめん流し ☆1月：餅つき大会 ☆11月：日帰り旅行



外来診察のご案内

* 外来変更のお知らせ *

H25.4.1 より外来診察医師の変更がありますので、下記にてご確認ください。

* 受付時間は月曜日から土曜日の 8 時 30 分～11 時 30 分です。

平成 25 年 4 月現在

| 曜日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|------|----|--------------|---------------|---------------|------|
| 午前 | 森 | 森 | 森 | 森 | 高内 | 森 |
| | 玉田 | 大村 | 高内 | 太田 | 木村 | (薬診) |
| | 藤田 | 木村 | 谷川 | 前田 | 藤田 | 玉田 |
| | (薬診) | 太田 | 玉田 | (薬診) | 大西 | 大西 |
| 午後 | | | 森 〈認知症外来〉 | 堀野 〈思春期外来〉 | 大村 (新患・再診) | |

広報誌 (PDF) はホームページからも閲覧・印刷可能です。



編集後記

皆様、ゴールデンウィークはいかがでしたでしょうか。今年は天気に恵まれ、近場へ旅行に行かれる方が多かったとニュースで報道していました。私は季節外れの風邪をひいてしまい、家の中に引きこもっていました。来年こそは外に遊びに行けたらと思います。 広報担当

医療法人達磨会 東加古川病院

〒675-0101 加古川市平岡町新在家 1197-3

TEL : 079-424-2983 (代表)

FAX : 079-424-2985

HP : <http://www.tatsumakai.jp>

当院では 2004 年に ISO9001 を取得しています



QJ01045/ISO9001:2008



- ① 公共交通機関でのご来院
JR 東加古川駅下車 北口より徒歩 10 分
- ② お車でのご来院
加古川バイパス 加古川東ランプ下車 (山側すぐ)